

公契約条例対象業務

最低制限価格制度適用対象業務

長期継続契約対象業務

令和 6 年度

委託 第34号

学校給食配送車運行等管理業務及び
学校給食センター除雪業務委託

仕様書

おいらせ町 中平下長根山 地内

おいらせ町

1. 適用範囲

この仕様書は、発注者が受注者に委託する学校給食配送車の運行等管理業務及び学校給食センター敷地内の冬期間の除雪業務の概要を示すものであるが、業務上必要と認められる事項については、本仕様書に記載されていない事項であっても、発注者の指示により契約金の範囲内において実施するものとする。

2. 名称

学校給食配送車運行等管理業務及び学校給食センター除雪業務委託

3. 業務地

おいらせ町 中平下長根山 地内

4. 配送先

おいらせ町内の小中学校 8校

学 校 名	所在地
下田小学校	おいらせ町舘越38-1
木内々小学校	おいらせ町染屋101-7
木ノ下小学校	おいらせ町青葉6丁目50-184
百石小学校	おいらせ町牛込平20-1
甲洋小学校	おいらせ町一川目四丁目6-10
下田中学校	おいらせ町立蛇114-3
木ノ下中学校	おいらせ町上久保22-2
百石中学校	おいらせ町東下谷地116

5. 配送車両数

給食配送車2t車 4台

6. 契約期間

令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間

※契約年月は令和6年2月（予定）だが、配送車運行等の期間（支払い対象となる期間）は令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間

7. 配送業務内容

【給食開始までの期間】

- (1) 各学校の本設・仮設搬入口への配送（実車）の訓練
- (2) 車両管理の確認

【給食開始後の期間】

- (1) 学校給食配送車の運転業務
⇒配送ルートと配送時間の計画を基に、給食コンテナを目的地へ配送する業務
(積雪時は、ドックシェルターとの接続のためドックシェルター付近の除雪も行うこと)
- (2) 給食コンテナの積み下ろし業務
⇒配送時及び回収時の給食コンテナの積み下ろし作業
- (3) アレルギー対応食用食器の受け渡し業務
⇒アレルギー対応食の受け取り及び受け渡しの確認
※対応食は個別の保温容器等に入れます。その容器が学校側へ確実に受け渡しを行い、その結果を記録簿等に記載を行う作業。

- (4) 学校給食センターと学校間の文書の受け渡し業務
⇒給食センターで依頼した文書ファイル等を給食配送時に届ける作業
- (5) 配送記録簿作成業務
⇒出発時間、配送時間、回収時間等の記録（様式1号）
- (6) 配送車両の清掃業務
⇒配送終了後に車内及び特別架装部分の清掃
- (7) 車庫等の清掃業務
⇒週1回以上掃除用具を使用し、車庫及びプラットホーム（ドックシェルター付近）の床洗浄を行う
- (8) 車両点検業務
⇒車両の点検を行い、異常があれば報告する
- (9) 運行計画に基づく人員配置計画
⇒人員配置計画を事前に報告する
- (10) その他センターが指示する事項
⇒給食センターから搬出される廃棄物（事業系ごみ等）を廃棄物倉庫（車庫棟）へ運び出す
⇒倉庫内非常食等の搬入・搬出
⇒センター及びドックシェルター周辺の掃除、軽微な環境整備
⇒施設外観の目視確認（不具合があると思われる箇所を発注者へ報告する）

【その他】

▼ 令和6年3月31日までに実施

- (1) 人員の確保（3月中に 健康診断、検便結果報告書提出）
- (2) 各学校への配送ルートと配送時間の計画策定及び確認
- (3) 運転講習・衛生管理に関する研修
- (4) 諸記録簿への記載確認
- (5) その他給食配送に必要な準備

▼ 必要に応じて随時

- (1) 自動車損害賠償責任保険請求の事務手続き代行
- (2) 事故処理に関すること
- (3) 自動車保険（任意保険）に関すること
- (4) 燃料の給油（発注者が指定する給油所、料金については発注者の負担とする）
- (5) タイヤ交換作業（春、冬）
- (6) 車両リース料に含まれた「車検整備・法定点検・油脂類エレメント交換・灯火器バルブ、ワイパー交換等」の指示に関すること。

8. 業務従事者（運転手）の条件

- (1) 自動車運転歴が5年以上あり、かつ、おいらせ町内において業務運転手としての運転歴が3年以上あるか、おいらせ町の道路事情に関し豊富な知識を要していること。
- (2) 過去の運転業務において免許停止等の重大な違反・事故等が無いこと。
- (3) 本仕様書に関する業務を遂行するための健康状態に問題がないこと。
特に積み下ろしする給食コンテナ（別紙）は約400kg～500kgの重量となることから、業務遂行に支障がない人員の確保に努めること。
- (4) 可能な限り地元雇用に配慮すること。
- (5) 除雪車両の運転には「小型車両系建設機械（整地等）運転特別教育修了証」が必要であるので、予め取得しておくこと。

9. 業務従事者

- (1) 業務従事者は、学校給食が教育の一環である事を認識し、衛生管理に関する研修を行い常に食品の衛生的な取扱いができるようにすること。
- (2) 業務従事者は、年1回以上の健康診断を受けるとともに、毎月2回の検便検査（赤痢菌、サルモネラ菌、腸チフス、パラチフス、腸管出血性大腸菌の検出検査）を発注者の指定する日に実施し、発注者に報告すること。（様式3号）なお、検便検査で陽性反応が現れた業務従事者については、陰性反応になるまで本業務に従事させてはならない。
また、給食センターにおいて食中毒等の事故がおきた場合は、随時業務従事者に対する検査を実施すること。
なお、様式3号に替えて検便検査機関の報告書等、任意様式による報告を認める。
- (3) 病欠、欠勤等による業務遅滞が生じないよう代替業務従事者を定めておくこと。
ただし、衛生管理上みだりに従事者の交替を行わない。
交替の必要がある場合は、従事前には必ず健康診断（検便含む）を受け、合格したものを業務従事者とする事。
ただし突発的に欠員が生じた場合は、協議の上で業務従事者を決定するものとする。
- (4) 下痢、発熱、腹痛、嘔吐をしている者または、皮膚病等の感染性疾病で食品衛生上支障がある恐れがある者を本業務に従事させてはならない。
- (5) 業務従事者の服装は、常に食品の運搬に適した清潔な白衣、白ズボン、白帽、手袋、衛生マスク（必要に応じて安全靴）を着用すること。なお、業務従事者が着用する被服は、受注者の負担とする。
- (6) 白衣、白ズボン、白帽、マスク着用したまま、トイレに入らないこと。用便後は手洗い及びアルコール消毒を徹底すること。
- (7) 業務従事者は、清潔保持及び衛生上のことについて、あらかじめ発注者が指示したこと遵守しなければならない。
- (8) 業務責任者及び予備業務従事者を含む業務従事者に関する名簿を発注者に提出し変更のある場合にはその都度届け出ること。
- (9) 配送作業時の非常に備え、携帯電話等での迅速な連絡体制を整えること。
- (10) 業務従事者は、所定の時刻までに給食センターに出勤し、従事の準備及び出発の態勢を整えること。

10. 受注者の条件

- (1) 常勤の業務従事者が業務を遂行できない場合、確実に代替業務従事者を派遣し、業務を継続して実施すること。
- (2) 業務従事者に対して、業務（公衆衛生、衛生管理、安全運転やマナー）等に必要な研修・教育を実施し、資質向上に努めること。（代替業務従事者も同じ）
- (3) 事故に対する管理体制、対応手続きが確立され、事故発生時の対応について、マニュアルの配布等、十分な教育が行われていること。
- (4) 業務従事者の業務状況を随時把握するとともに、運転技能、接遇、マナー、道路事情に対する習熟度等に問題があった場合、発注者の求めに応じ、即座に交代に応じられること。

11. 配送車両

- (1) 車 種：日野自動車 2トントラック（リース車両 4WD、5速MT 等）
※リース期間終了後、発注者が買取り予定
- (2) 総排気量：4 L

12. 配送車両の使用

- (1) 車両の使用にあたっては、別紙「配送車両貸与に関する覚書」を発注者受注者間で締結

し、これを遵守すること。

13. 配送車両任意保険契約

(1) 受注者は、配送車両4台に対し、下記の内容以上の任意保険を掛けること。なお、契約期間内に車両の交換があった場合は、交換後の車両を対象として任意保険を掛けること。

(2) 保険期間

令和6年4月1日～令和9年3月31日(36ヶ月)

(3) 保険内容

①車 両：時 価 (参考：車両本体及び特別架装 約 200 万円/台)

②対 人：無制限

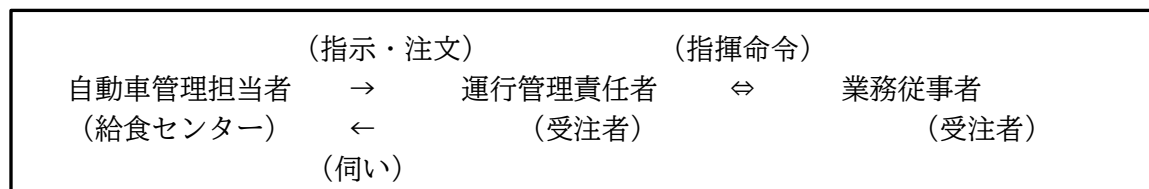
③対 物：無制限

④その他：必要に応じて事故等による食缶コンテナ等の損害分

(参考：食缶コンテナ 約 20 万円/台 、1回の配送で最大3台積載)

14. 配送業務の指揮命令

(1) 業務の指揮命令については次のとおりとする。



※緊急やむを得ない場合には、自動車管理担当者が業務従事者に直接指示又は指示の変更をすることがある。その際自動車管理担当者は事後直ちに、運行管理責任者へその旨伝えるものとする。

15. 配送時間・回収時間

(1) 配送は各校への到着は給食開始の30分前までに完了し、回収は洗浄作業を開始する時間までに完了するものとし、別紙「配送・回収計画」を参考にし、配送計画・回収計画を作成するものとする。

※運動会代休日や中体連代休日等の日については、全4台では配送しない日もある。

この場合、発注者は受注者に事前に連絡する。

16. 配送業務の出退勤時間及び休憩時間

(1) 出勤時間は午前9時30分以降とし、退勤時間は午後3時30分までとする。

(2) 労働時間は5時間を予定している。

(3) 業務従事者の休憩(昼食)は、業務に支障がないよう運行管理者が指示すること。

17. 委託料の支払い

(1) 委託料を年度ごとに委託月数12ヶ月で割り、令和6年4月からの委託料を毎月の業務完了後に請求すること。支払いは、請求のあった日から30日以内に支払うものとする。

(2) 毎月の業務完了後は指定した書類(完了届等)を提出すること。

(3) 端数等が生じた場合は、年度末の支払いで調整とする。

(4) 除雪業務は次の業務量で算定した額を委託料に含めること。

(算定業務量) 4時間×1月あたり4日×4月=64時間

(5) 除雪に関して実際の業務量が算定業務量を超えた場合は、追加分を別途追加契約するものとする。(業務量は別途示す除雪作業日誌の記録により確認する。)

18. 配送車運転回数

- (1) 給食回数は小学校200回、中学校195回を予定し、具体的な実施日数については年度当初に提示する。(学校により回数は増減する)
- (2) 期間中に回数が増減しても契約金額の変更は生じないものとする。

19. 法令の遵守

- (1) 受注者は業務の実施に当たって関係法令を遵守すること。特に関係法令に定められた諸手続(許可、届出等)を遅滞なく行うものとする。

20. 業務従事者の確保

- (1) 受注者は契約の履行を期するため、業務の遂行に適した者を配置し、常に業務に支障をきたすことのないようにしなければならない。
- (2) 受注者は業務従事者名簿報告書(様式2号)に資格を証する書類の写しを添付し、発注者に提出するものとする。業務従事者に交替があった場合も同様とする。
- (3) 履行管理等を行う者として業務実施責任者(以下「責任者」という。)選任し、業務従事者名簿報告書(様式2号)備考欄にその旨記載すること。なお、責任者が業務従事者を兼務することを妨げない。

21. 服務規律

- (1) 勤務中に飲酒をしてはならない。また、酒気を帯びて勤務してはならない。
- (2) 業務の実施にあたっては、交通法規等の法令を遵守し学校関係者、町民等に不信を抱かせることのないよう十分に留意すること。特に学校敷地内及び通学路においては、児童生徒に最大限の注意を払い事故防止に努めること。
- (3) 事故報告、事故時の対応については、事故報告書(様式4号)により速やかに発注者に連絡し処理するものとする。またその後の対応として受注者は業務従事者に運転教育や研修を実施しなければならない。

22. 異常及び事故報告

- (1) 受注者及び業務従事者は委託対象車両等に異常を認めた場合は、直ちに発注者に報告し、発注者の指示に従わなければならない。
- (2) 予定到着時刻に遅れる事由が発生した場合等は速やかに給食センターに連絡し、適正な対応をすること。

23. 労務管理

受注者は、業務従事者に対する雇用者及び使用者としての労働基準法、労働安全衛生法、職業安定法及び労働者災害補償保険法、雇用保険法その他社会保険諸法令上の一切の責任を負い、労務管理を行うものとする。

24. 配送車に関する経費負担区分

(1) 発注者の負担

- ア 消毒・清掃用具(高圧洗浄機、デッキブラシ、消毒液、モップ等)
- イ 燃料費、公租・公課(自動車税、自賠責保険等)
- ウ 車両リース料
- エ 車検整備、法定点検、油脂類エレメント類交換・補充、灯火器バルブ交換、ワイパー交換、タイヤ等の消耗品
- オ 受注者の責めによらない車両の修繕費用

(2) 受注者の負担

- ア 給食車両4台のタイヤ交換に要する工賃等費用
- イ 事故に対する車両、対人及び対物等の自動車保険費用（任意保険）
- ウ 業務従事員の給与、福利厚生費等の人件費
- エ 業務従事員の健康診断（年1回以上）、検便（月2回以上）に要する費用（代替業務従事者1名分を含む）
- オ 業務従事者の被服等（白衣、白ズボン、帽子、手袋、マスク等、必要に応じて安全靴）に要する費用
- カ 自動車リース会社との点検整備等の立ち合いに要する費用
- キ 受注者の責めによる車両の修繕費用

25. 配送業務責任区分

項 目	受注者の業務	受注者以外の業者の業務
① 給食センター 出発時の作業	給食コンテナが固定バーで固定されていることを確認する作業	給食コンテナを車両に搭載し、固定バーで固定する作業 （給食センター調理員の作業）
	給食コンテナが固定される前の事故については受注者以外の責任	
② 学校到着時の作業	固定バーを取り外し、渡し板からスロープを通り、配膳室まで移動させる作業	渡し板から配膳スロープを移動し配膳室まで移動させる作業（補助）
	アレルギー対応食を配膳員（学校教諭）へ渡す作業	アレルギー対応食を業務従事者（運転手）から受け取る作業
	出発時の固定バーの確認から学校到着後の給食コンテナの配膳室移動までの事故は受注者の責任 ・不良運転による給食コンテナ内の食缶転倒 ・固定バーの不備による給食コンテナの転倒 ・各校到着後の給食コンテナ積み下ろし中のスリップや強風による給食コンテナの転倒	
③ 学校出発時の作業	・給食コンテナを車両に搭載する ・給食コンテナを固定バーで固定する ・学校からの嘔吐食器等について受け取る。	・給食コンテナを車両付近まで移動する ・給食コンテナを車両に搭載する
④ 給食センター到着時の作業	・給食コンテナが降ろされた後、車内清掃、架装内清掃を行い、各種記録簿に記載する。 ・嘔吐食器等については、所定の場所に置くこと。 ・センター敷地内の清掃、ごみ搬出等を行う。（この他、指定された業務を行う）	固定バーを取り外し、給食コンテナ降ろす。

26. 配送に関するその他留意事項

- （１）車両の定期点検及び法定点検は発注者が契約した車両リース料に含まれているため、リース会社と日程調整の上で、給食配送に支障が生じないように行うこと。（なお、リース期間終了後は発注者が車両を買い取る予定である。）
- （２）仕様書で提示していない報告書・記録簿等については契約締結後に提示する。
- （３）この仕様書に示されていない事項で疑義が生じた場合には発注者受注者両者で協議すること。
- （４）業務従事者の自家用車に係る駐車場は、学校給食センター駐車場を利用すること。
- （５）運転業務従事者休憩用のセンター敷地内に仮設施設（延べ床面積 10 ㎡未満）を設置すること。ただし、仮設施設の設置及び撤去に係る費用については全て受注者の負担とする。また、仮設施設内の設備にかかる費用についても全て受注者の負担とする。

- (6) 運転業務従事者の更衣室は学校給食センター 1 階に 4 名分を準備する。
- (7) 昼食は各自準備すること。なお、学校給食を有料での提供は可能。喫食を希望の場合は事前に申し出ること。
- (8) 各校の配膳員の人数は次のとおり

下田小	1 人	下田中	2 人
木内々小	2 人	木ノ下中	2 人
木ノ下小	4 人	百石中	2 人
百石小	2 人		
甲洋小	1 人		

27. 冬期除雪業務期間

各年 1 2 月 1 日から翌 3 月 3 1 日まで

28. 除雪範囲

敷地面積 7,931.96 m²のうち要除雪面積約 5,000 m² ※別紙「除雪範囲図」参照

29. 除雪業務内容

- (1) 指定車両を運転して行う学校給食センター敷地内の除雪作業及びこれに付帯する業務（車両の運行については、おいらせ町公用車運行管理規程を遵守すること）
- (2) 指定車両の日常点検整備（別途示す 除雪作業日誌、日常点検整備表の記載）
- (3) 指定車両に附属する消耗品、備品等の保管及び管理
- (4) 本業務を監督する発注者の職員は学校給食センター所長とし、監督職員という。
- (5) その他前各号に付帯する事項として発注者が必要と認めたこと

30. 除雪指定車両

- (1) 車型等 小型ホイールローダ 1 台
(機体重量 3 t 未満、バケット容量 0.4 m³、軽油燃料)
- (2) 管理者等 発注者の負担でリース車を契約するが、日常的な管理は受注者が行う。
- (3) 保険等 公課費、車検整備費、自賠責保険料、盗難保険料、対人・対物賠償はリース契約に含まれる。自損事故、車両損害についても基本的に保険対応とし、リース契約に含まれるが、受注者の責めによる事故の場合等は協議によるものとする。
- (4) その他 監督職員の指示により、他部署に指定車両を使用させる場合があるが、その際は受注者の管理外とする。

31. 除雪業務実施計画

- (1) 責任者は監督職員の立ち合いのもと、積雪前に敷地内の段差、水道メーターの埋設場所、駐車枠の起点等の要注意箇所を確認し、スノーポールを設置する等、積雪後でも位置が分かるようにすること。
- (2) 履行期間中、積雪が概ね 10 c m 以上となった場合、監督職員の指示により、作業を実行すること。
- (3) 作業は原則として、給食調理のある日に行うが、積雪が大量で当日では間に合わない場合は、休日であっても、給食調理のある日の前日の作業を指示することがある。また、調理・配送のない学校冬季・春季休業期間であっても、学校給食センターの業務に支障を来す程度の積雪がある場合は作業を指示することがあるので対応すること。
(最大 8 日の見込み 1 月あたり 2 日×4 月)
- (4) 作業は積雪の程度により、不定期に指示されるが、責任者は予め業務従事者の配置等計画しておくこと。

32. 除雪業務に関する勤務日、勤務時間等

(1) 勤務日 不定期（積雪状況による）

(2) 勤務時間 原則として、午前7時30分から午前9時30分まで、又は午後3時30分から午後5時30分まで、もしくはその両時間帯。給食調理のない日の場合は監督職員の指示する時間帯。勤務時間は1時間単位とし、30分以上切上げ、同未満切捨てとする。

33. 除雪業務に関する経費負担区分

(1) 発注者の負担

ア 車両リース料（自動車税、自賠責等保険料、車両整備費用等含む）

イ 燃料費

ウ 敷地内で使うスノーポール等の備品

(2) 受注者の負担

ア 業務従事員の給与、福利厚生費等の人件費、被服費

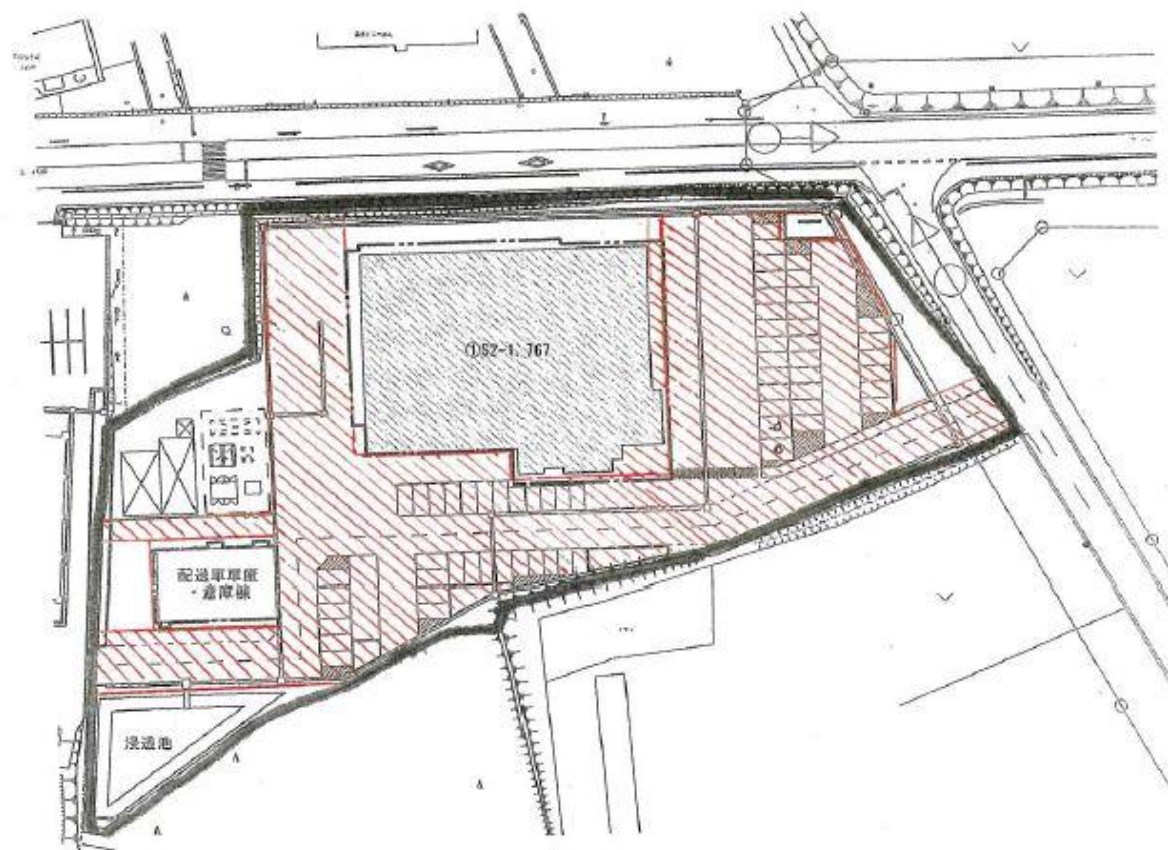
イ 業務従事者の労務管理に要する費用

ウ 業務従業員の責めによる車両の修繕費用

34. 除雪業務に関するその他留意事項

業務従事者が学校給食配送車運行等管理業務委託と兼務して従事する場合は、配送を優先すること。

給食センター除雪範囲図



 除雪範囲

様式 1 号

令和 年度 配送記録簿

運転月日 (曜日)	配送先	配送時間		回収時間		表示キロ数 km		走行距離 km	運転者
		センター 出発時間	学 校 到着時間	センター 出発時間	学 校 到着時間				
月 日	小学校	:	:	:	:				
	小学校	:	:	:	:				
	小学校	:	:	:	:				
	小学校	:	:	:	:				
	小学校	:	:	:	:				
	中学校	:	:	:	:				
	中学校	:	:	:	:				
	中学校	:	:	:	:				
	中学校	:	:	:	:				
	中学校	:	:	:	:				
	中学校	:	:	:	:				

様式 2 号

業務従事者名簿報告書

おいらせ町立学校給食センター所長

受託会社 _____

配送・回収業務に係る従事者について、下記のとおり報告します。

氏 名	性別	年齢	住 所	電 話	免許の種類	経験年数	備考
	男・女					年	
	男・女					年	
	男・女					年	
	男・女					年	
	男・女					年	

注意事項 ○責任者 1名および代替従事者を選任すること。

※ 添付書類

- ①定期健康診断結果報告書の写し（原則 4 ヶ月以内のもの）
- ②検便検査報告書の写し（従事前 2 週間以内のもの）
- ③小型車両系建設機械（整地等）運転特別教育修了証の写し

定期検便結果報告

令和 年 月 日

おいらせ町立学校給食センター所長

受託会社

このことについて、学校給食配送・回収業務従事者の検便結果を下記のとおり報告
します。

記

1. 受診結果

職 名	従事者氏名	検査日	異常の有無

様式4号

事故報告書

令和 年 月 日

おいらせ町立学校給食センター所長

受託会社

下記のとおり 事故が発生したので、報告します。

記

1. 日 時
2. 場 所
3. 事故の種類
4. 原 因
5. 発生状況および事故の程度
6. 事故の処理状況

＊添付書類：発生状況の写真（カラー数枚）・位置地図
報告書は、事故発生後速やかにセンターへ提出ください。

車両貸与に関する覚書

おいらせ町（以下「発注者」という。）と（以下「受注者」という。）
とは、発注者受注者間の令和6年 月 日付の業務委託契約に基づく車両運行の実施に必要な車両の貸与及び提供について、次のとおり覚書を締結する。

第1条（総 則）

発注者は、本覚書締結後速やかに次の車両（以下「本車両」という。）を受注者に無償で貸与するものとし、受注者は、これを使用して本業務を実施するものとする。

- 名称：給食配送車（リース車両 日野自動車 2 t 4WD）
- 数量：4 台

第2条（目的外使用の禁止等）

受注者は、本車両を本業務の実施の目的にのみ使用し、他の目的には一切使用できない。

- 2 受注者は、本車両を第三者に使用または収益させてはならない。

第3条（本車両の維持管理等）

受注者は、善良なる管理のもとで本車両を維持管理するものとする。

- 2 受注者は、理由の如何にかかわらず、本車両を改造してはならない。
- 3 本車両につき、故障その他の理由により修理が必要となったときは、受注者は、速やかにその旨を発注者に通知するものとし、受注者は、自己の負担において当該修理を行うものとする。
ただし、発注者（発注者の職員のほか、発注者との契約に基づき発注者の業務を行う第三者を含む。）の責めに帰すべき事由により修理が必要となる事態が発生したときは、発注者の費用負担により修理を行うものとする。

第4条（経費の負担）

本車両の使用に必要な消耗品は、発注者が準備する。

- 2 本車両の使用により生じる燃料費は、発注者の負担とする。

第5条（貸与及び提供期間）

本車両の貸与及び提供期間は、本覚書締結日から本業務の終了日までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、貸与期間の満了前に受注者が本車両の使用を終了した場合は、当該
日をもって本車両の貸与は終了するものとする。

第6条（本車両の返却）

受注者は、本車両の貸与期間が終了した場合は消耗した部分を除き、本車両を現状有姿のまま遅滞なく発注者に返却するものとする。

第7条（覚書内容の変更等）

本覚書の各条項に定める事項を変更する必要がある場合は、発注者受注者協議の上その取

り扱いを決定する。

第8条（覚書の効力）

本覚書は、締結日に発効し、第6条により受注者が本車両の返却を完了し、発注者がこれを確認した日まで有効に存続する。

第9条（協議事項）

本覚書に定めのない事項および本覚書の各条項の解釈につき疑義が生じた事項については、本覚書の趣旨に従い、発注者受注者協議の上決定するものとする。

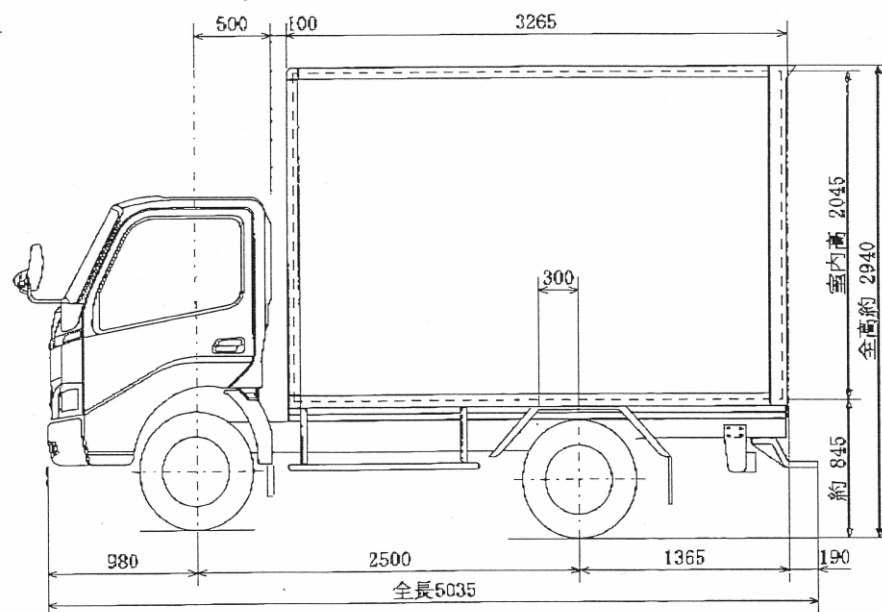
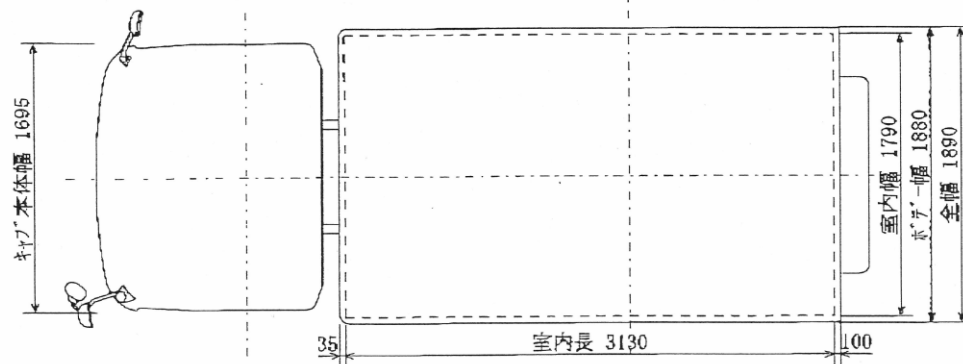
本覚書締結の証として、本書を2通作成し、発注者受注者記名押印のうえ各1通を保有する。

令和6年 月 日

発注者 青森県上北郡おいらせ町中下田135番地2
おいらせ町長 成 田 隆 ⑩

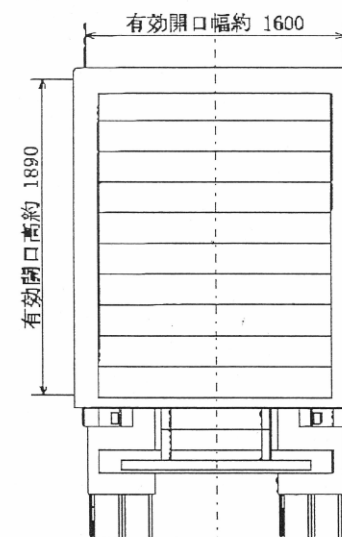
受注者

⑩

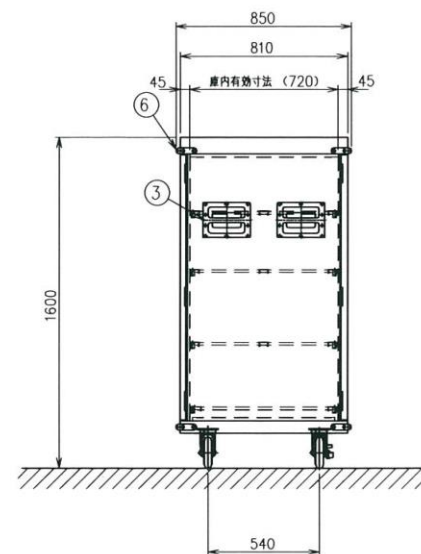
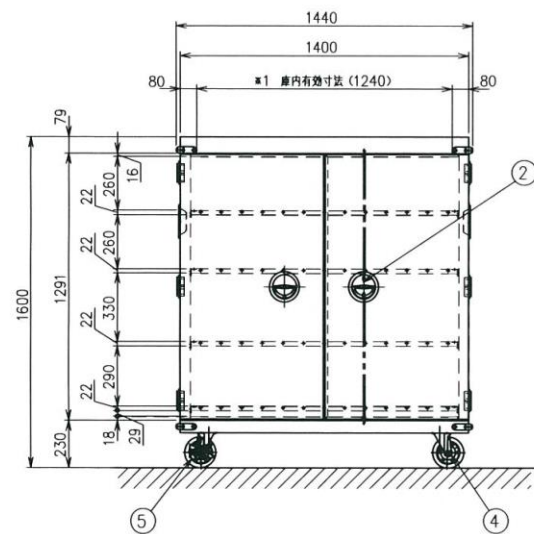
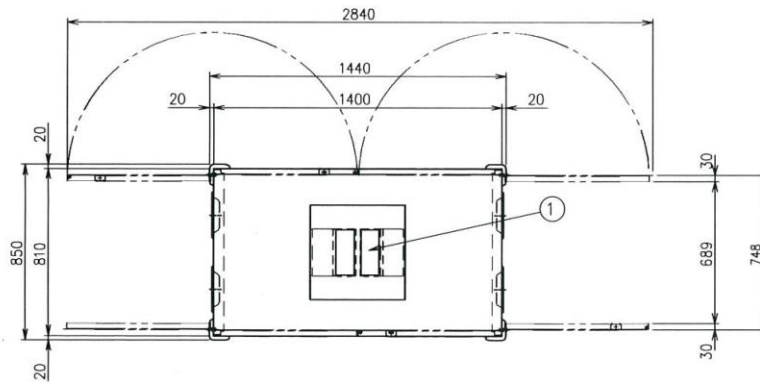


国 番 名 称	Y01-01518		
	バン全体図		
	株式会社 北村製作所		
品 可	左 後	設 計	2016/03/19
学校給食センター 様			
車型: TKG-XZU675M-TQMMB3			

※ 計算値の為、多少の誤差があります。



別紙 コンテナ単品図



製品の仕様及び外観は、品質改良のため予告なしに変更する場合があります。

承認	検図	設計	尺度	1/20	図法	第三角法	日付	名	天吊り式用コンテナ
			記事					品番	1440×850×1600
								図番	

【参照】

休憩用仮設施設（例）



延べ床面積は 10 m²未満とする。

仮設施設の設置・撤去は受注者で行うものとし、その費用は全て受注者の負担とする。

仮設施設内で使用する設備に関しては全て受注者で準備し、その費用については全て受注者の負担とする。

※ 施設内への電気、水道引込はできません。

※ 暖房設備（使用燃料含む）は受注者で準備すること。

配送・回収計画参考資料

▶ 令和5年度学校及び食数・学級数・コンテナ台数等

	学校名	コンテナ 台数	調理完了時間 (配膳開始)	想定される 配送 出発時間	想定される 学校 到着時間	検食時間 (給食開始時間の30分 前)	給食 (喫食) 開始時間	学校から センター までの距離 (KW)	学校から センター までの時間 (分)	回収
1	下田小学校	2	10:30	11:16	11:21	11:50	12:20	2.5	7	12:45
2	木内々小学校	3	10:10	10:45	10:57	11:25	11:55	2	7	12:35
3	木ノ下小学校	6	10:10	10:55	11:10	11:25	11:55	6.9	15	12:40
4	百石小学校	3	10:10	10:45	10:57	11:40	12:10	4.2	7	12:45
5	甲洋小学校	2	10:30	11:09	11:27	11:30	12:00	10.3	18	12:50
6	下田中学校	2	11:00	11:45	11:47	12:00	12:30	0.2	2	13:00
7	木ノ下中学校	3	11:00	11:35	11:49	12:05	12:35	6.3	14	13:05
8	百石中学校	3	11:00	11:45	11:51	12:10	12:40	5.6	13	13:00